(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
2010年1月21日(木)　N096
地域から明るい未来を作ろう

# 財務省と共産党

よく見ていますと両者は似ています。常に国民のことを最優先としているように話されますが、私には思考過程は同じように見えてます。なぜクーデターに手を貸すのでしょう。ピンぼけな教科書の正解でありません。結局それで誰が利するのでしょうか。財務省は大好き？。大嫌いな？米国ではないですか。日本共産党は国民が基軸なら、名にこだわる限りにおいて、今後五十年経ても、国民は与党に参画させないでしょう。

「石川」と「金沢」の名が政争の場に出ています。「森」が出てくればそろい踏みなんですが・・・ね。

いま需要の創出しか日本の未来と再生、明日はない。政治家が財務省の支配下に下る限り、我が国の再生はあり得ないのです。現状では今、日銀の動きから目が離せません。

何故、日本国民はアメリカにいつまでも保護してもらわなければならないのでしょう。これまでの政権の考え方事態がそもそも不純だったと云えないでしょうか。現在を見て昭和３０年当時の自民立党の精神（便り09年11月12日・NO76）から五十年経っても、これに反しています。しかも殆どの先生方が認識していません。

◇　◆　◇

東京地検特捜部長　佐久間達哉ー終戦後、占領軍の命で隠匿（ヤミ）物資を探した「東京地検特捜部」の長。元在米日本大使館１等書記官の経歴　正義より単なる忠犬アメ公？。

民主党衆議院議員　村越祐民ー努力不足を棚に上げ、一時期、小沢に公認を取消されたことを恨みに持つ男。「小沢は議員辞職しろ」「民主党は北朝鮮」等々の利敵行為の数々。

石川知裕議員元私設秘書　金沢敬ー公認目当てに石川議員へ近づくも、望み叶わず意趣返し。

民主党衆議院議員　渡部恒三ー小沢に民主党最高顧問を外されたことを根に持つ？。

## 一流だけが持つ品格

自然そのものは純粋なものです。自分自身も純粋でなければ感じられない。人を感動させることのできない絵は、技術が最高でも真に心を打つことが出来ない、これは「純粋さ」を失っているからです。それが伝わるのです。一流だけが経験で分かる。見えてくるのです。プロなら一度決めたら命を懸ける。死ぬ思いでやる。物事の判断基準は「美しさ」です。品位や品格は美しく生きることと。そこから生まれてくる「力」なのです。

自然の非常で破壊的な強さ、優しさを全身で浴びると、大災害で被災した人は、よく人生観が変わると言います。

古典に学べ、自然に学べ、一流に接しろと、多くの先人達が云いっています。

## 良心が神だ

どうしてだろうと
思うことがある
なんまんなんおくねん
こんなにすきとおる
ひかりのなかにいき
てきて
こんなにすきとおる
くうきをすいつづけ
てきて
こんなにすきとおる
みずをのみつづけてきて
わたしたちは
そしてわたしたちのすること
とは　どうして
すきとおっては　こないの
だろうと・・

ーまど・みちおー

信用と信頼は違う、前者は頭がするもの、後者は心がするもの。信頼は約束や常識によるものではない。そもそも信頼は良心の世界です。前に平然と踏みにじる人がいた。